

事業主側ハ六月廿九日ノ出勤者ハ十八名ナリシカ望三十日ハ  
争議團體ノ切崩レニ依リ僅カニ八名トナリ殆ト休業状態ニ陥  
入りタルヲ以テ休業ノ準備ヲ為シツ、アリ

争議團體側

争議團體側ハ六月二十八日終業員ノ休日ヲ利用シ密カニ戸別訪  
問ヲ為シ争議参加ヲ為レ争議団本部ニハ支部旗十二旗ヲ掲シ  
自米十三旗ヲ續シ労働歌ヲ高唱氣勢ヲ揚クツ、アリ

三 交渉状況

六月二十九日東京鉄工組合主事 原虎一及徳永正邦外  
六名ハ工場ニ於テ水田事務長ト會見シ今回會社ノ採レル欠置  
ハ其ノ言動ニ依リ労働組合破壊ナリト詰問セルニ水田事務  
長組合破壊云々ノ同題ハ相互誤解ニ基シフト、思フ故ニ自今  
ハ凶際一切ノ理論ト感情ヲ除キ其ノ誤解ヲ去ル爲メ日愈ニ度

シ要取書ニ依リテ解決ヲ望ムト述ヘタルニ原虎一ヨリ大抵ニ  
於テ我意ヲ認ムルニ云々ハ六名ノ復職ヲ以テ満足スルモノニ  
非ラス組合公認其ノ他十二項ノ要求アリ更ニ交渉ヲ重ムルコ  
ト、レ度シト一ト先會見ヲ了セリ

六月三十日別記ノ場所ニ於テ労置ノ會見アリ水田事務長ヨリ昨  
日今見ノ際最大ノ注意ヲ以テ自紙ニ度スニトニレシカ争議団  
員ハ依茲トシテ出勤職工ヲ阻止シ挑発的ヲアルト述ヘタルニ  
原虎一ハ依々ハ敢ヘテ争議ヲ望ムモノニ服ラズ事茲ニ全ツテ  
ハ争議ノ外ハナイ云々ト述ヘ遂ニ交渉決裂ニ終レリ

四 警察事故

六月三十日午後三時半頃争議不参加職工北山善三郎カ工場  
ヨリ外出ノ際争議員約二十名位一團トナリ追跡シ工場附  
近ニ於テ不意運動ヲ為シ制止ヲ肯コタル爲メ竹槍等持着ニ